

総合



概況

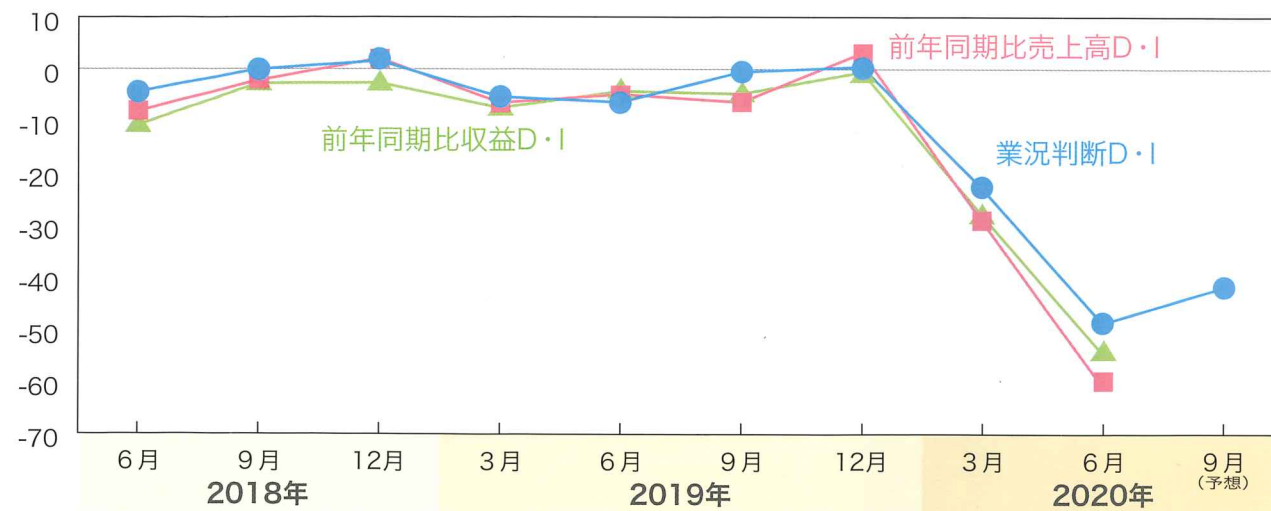
バブル崩壊後に匹敵する景況感の悪化

当金庫が1986年9月から調査を開始して以降、北海道拓殖銀行が経営破たんするなどした1997年11月後の1998年6月と9月に記録した△49.4と△52.6に次ぐ悪い業況D・I値となる△48.7となりました。当時は建設業や不動産業の景況感が最悪でしたが、今回は小売業やサービス業の景況感が極めて悪くなっています。

来期の見通しについて

小売業・サービス業・不動産業・運輸業で改善し、全体では今期比6.9ポイント改善する見込みです。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	9.1	4.3	△4.3	△17.4
卸売	0.0	7.2	0.0	△7.1
小売	7.1	5.4	△14.6	△3.6
サービス	6.7	6.7	△3.4	0.0
建設	9.3	△11.6	0.0	△2.3
不動産	0.0	△14.3	△14.3	△14.3
運輸	0.0	11.8	0.0	△5.9
農業	3.7	7.4	△3.7	0.0

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	40.9	8.7	17.4	4.3
卸売	21.4	21.4	0.0	0.0
小売	21.4	10.9	△3.6	0.0
サービス	20.0	-	6.7	6.7
建設	30.2	16.3	11.6	9.3
不動産	-	-	-	-
運輸	52.9	35.3	△47.0	11.8
農業	14.8	11.1	3.7	7.4

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	△22.8	△34.8	△8.7	△13.1
卸売	△21.4	△28.6	△14.3	△14.3
小売	△23.2	△32.7	△20.0	△21.8
サービス	△33.4	△33.3	△13.3	△6.7
建設	△55.8	△27.9	△27.9	△34.9
不動産	△28.6	△28.6	△14.3	△14.3
運輸	△47.1	△70.6	△35.3	△41.2
農業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	4.5	△26.1	△30.5	△21.7
卸売	14.3	0.0	△7.1	△7.1
小売	0.0	△3.7	△12.7	△12.7
サービス	10.0	△10.0	△20.0	△13.3
建設	2.4	△7.0	△9.3	0.0
不動産	0.0	△14.3	0.0	0.0
運輸	0.0	△5.9	△11.7	△17.6
農業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

(%)

	借入金の実施 した	借入金の予定 ある	民間金融機関からの借入難易度			
			容易	変わらない	難しい	該当なし
製造	30.4	43.5	13.0	65.2	13.0	8.8
卸売	28.6	21.4	64.3	28.6	-	7.1
小売	29.1	25.5	12.7	63.6	5.5	18.2
サービス	26.7	26.7	13.3	70.0	3.3	13.4
建設	41.9	27.9	25.6	65.1	2.3	7.0
不動産	14.3	28.6	0.0	100.0	0.0	0.0
運輸	52.9	41.2	29.4	58.8	11.8	0.0

○設備投資の動き

(%)

	前年同期	前期	今期	実施予定
製造	27.3	17.4	21.7	30.4
卸売	21.4	7.1	21.4	21.4
小売	14.3	9.1	7.3	10.9
サービス	23.3	13.3	10.0	13.3
建設	14.0	4.7	7.0	7.0
不動産	-	-	-	-
運輸	17.6	35.3	35.3	29.4
農業	0.0	14.8	7.4	0.0

2020年4月~6月期 設備投資



今後3ヶ月以内 設備投資計画

